



高島町有機農業五十年の歴史年表

西暦 (元号)	農業、環境政策の動向	高島の出来事(動向)	時代背景 (環境・農業の国際動向等)
一九六〇 (昭和三五)	米収穫量一二八五万トン、史上最高の豊作 パラチオン、テップなど 農薬事故一三八〇件発生	高島町青年団活動 町誘致企業公害反対運動・ 米価要求運動 青年問題研究集会	米増産運動
一九六一 (昭和三六)	農業基本法制定	青年団、農業基本法の学習会 高島で水田への農薬散布始まる	農業基本法制定(近代農業・専 作的規模・拡大路線)
一九六二 (昭和三七)	第一次全国総合開発計画 策定 四日市塩浜コンビナート で公害検診開始		ベトナム戦争で米軍が枯葉剤の 散布開始 レイチェル・カーソン『沈黙の 春』を出版し農薬汚染を告発
一九六四 (昭和三九)	東京オリンピック 出稼ぎ農民一〇〇万人を 超える 新潟阿賀野川流域で水銀 中毒発生(第二水俣病)	和田小学校自給野菜組合発足 青年による雄飛会(農業研究 サークル)発足 高島町で大型トラクター導入・ 共同利用始まる。果樹園での共 同防除始まる 農業青壮年研修所開設	
一九六六 (昭和四一)	農林省、水銀系農薬の非 水銀系への切り替えを通 達		
一九六七 (昭和四二)	米の生産量ピーク(一四 四五万トン)	ジークライト社周辺汚染発生	
一九六八 (昭和四三)	米が生産過剰に。古米の 在庫五五〇万トン カネミ油症事件	米の集団栽培で山形県六〇万ト ン目標達成 第二期山村振興事業で水田基盤 整備事業開始、ブルドーザーに よる水田の区画割整理が進む	
一九六九 (昭和四四)		第一回青年自治研修会	
一九七〇 (昭和四五)	減反(米の生産調整)政 策始まる	青年団、公害調査に乗り出す 住民とジークライト社による公 害対策協議会	



高島町有機農業五十年の歴史年表

西暦 (元号)	農業、環境政策の動向	高島の出来事 (動向)	時代背景 (環境・農業の国際動向等)
一九七一 (昭和四六)	環境庁設立 農水省が有機塩素系農薬の野菜、飼料作物への使用禁止 BHC・DDT販売禁止 PCB環境汚染問題化	ジークライト社見舞金覚書に調印 青年研修所開設	日本有機農業研究会発足
一九七二 (昭和四七)	通産省PCBの生産、使用禁止 自治省が初の過疎白書を発表		国連人間環境会議 ストックホルム宣言採択 「国際有機農業運動連盟」(IFOAM)発足
一九七三 (昭和四八)		高島町有機農業研究会発足(四十一名) 高島町青年研修所主催による長野県研修の際、築地文太郎研究員を囲む会を催す。さらに一乗照雄理事を高島に迎え、総合農業学会、日本有機農業研東日本研修会開催	オイルショック(畜産価格大暴落)
一九七四 (昭和四九)	有吉佐和子が朝日新聞に「複合汚染」を連載 熊本県・有機農業研究協議会設立	有吉佐和子、高島町有機農業研究会員の畑を取材 NHK「一億人の経済・よみがえる土」高島有機農業研究会を取材、放映 総合農業学界、日本有機農業研東日本研修会を高島で開催	世界人口四〇億人
一九七五 (昭和五〇)	母乳から残留農薬検出(PCB・水銀等汚染問題深刻化)	高島小学校で校有田耕作始まる 首都圏消費者グループ(所沢・杉並)と有機研提携始まる 星寛治、町教育委員に、「耕す教育」提唱 高島町有機農業研究会が山形新聞より「三P賞」受賞	
一九七六 (昭和五一)	厚生省調査で母乳の全てからBHCなど検出	大冷害、有機田は山吹色に実る 会員二十一名に減少、拡大取組 有機米の首都圏消費者グループへの産直開始 たまごの会と有機研提携始まる	WMO(世界気象機関)、地球温暖化の進行を警告



高島町有機農業五十年の歴史年表

西暦 (元号)	農業、環境政策の動向	高島の出来事(動向)	時代背景 (環境・農業の国際動向等)
一九七七 (昭和五二)		山村地域特別事業として、米沢市六郷町古藤家を移築し、和田民族資料館建設、有機農研の活動拠点に	
一九七八 (昭和五三)	第二次過剰米処理、水田利用再編対策	産直活動展開 消費者の援農(田の草取り)始まる 農事組合法人米沢郷牧場設立	
一九七九 (昭和五四)		墨田区と高島交流始まる	スリーマイル島原発事件 世界気象会議(WMO) 温室効果による温暖化警告
一九八〇 (昭和五五)	戦後最悪の凶作	第二次減反開始	
一九八一 (昭和五六)	DDT、ディルドリン、エンドリンが全面使用禁止	東京都墨田区学校給食への米の供給開始	
一九八二 (昭和五七)	経団連「農業・農政のあり方」を提言、保護農政を批判	日本有機農研、第八回総会を高島で開催 農薬空中散布飛散調査	南極でオゾンホール発見 遺伝子組み換え植物の出現
一九八三 (昭和五八)	農産物輸入自由化阻止運動	高島町有機農研、和田、糠野目、高島の三ブロックに分かれる 星寛治、高島町教育委員長に	
一九八四 (昭和五九)	農水省「消費者の部屋」を開設		
一九八五 (昭和六〇)	大地を守る会が有機無(減)農薬の野菜、果実の宅配開始	高島と墨田区の小学生の夏休み体験教室始まる 「電子技法高島研究会」発足	EUが環境保全型農業への助成を制度化
一九八六 (昭和六一)		桜映画社撮影開始、途中で中断 「上和田有機米生産組合」発足(四十八名)	チェルノブイリ原発事故
一九八七 (昭和六二)	特別栽培米制度による有機米の公認 総合保養地域整備法 自民党に有機農業研究議員連盟設立	「農薬空中散布に関する要望書」を町、農協に提出 中止の申し入れ	



高島町有機農業五十年の歴史年表

西暦 (元号)	農業、環境政策の動向	高島の出来事 (動向)	時代背景 (環境・農業の国際動向等)
一九八八 (昭和六三)	宮崎県綾町自然生態系農業推進条例		日米農産物交渉決着。牛肉オレシンの自由化 全米精米業者協会、日本のコメ市場開放をUSTRに提訴
一九八九 (昭和六四) (平成元)	農水省有機農業対策室設置	上和田有機米生産組合員一三〇戸に	
一九九〇 (平成二)	食糧管理制度廃止 自主流通米価格機構による米の入札取引開始	たかはた共生塾発足(鈴木久蔵塾長 星寛治副塾長)	
一九九一 (平成三)	農水省有機栽培ガイドライン設定 バブル経済崩壊	映画『おもひでぼろぼろ』先行上映会 高島の農業青年がモデルに擬せられる(高畑勲監督)	米国有機農産物の連邦基準策定
一九九二 (平成四)	厚生省三四農業に残留基準制定	自然と人間、都市と農村の共生を願い、まほろばの里農学校が開校 山形新幹線開通 高島駅停車実現 星寛治、第二詩集『はてしない気圏の夢をはらみ』出版	リオデジャネイロ国連環境開発会議
一九九三 (平成五)	冷害による戦後最悪の凶作 米二〇〇万トン緊急輸入	和田民族資料館新管理組合発足(高橋善美組合長) 築地文太郎を偲ぶ会(一楽照雄出席) 星寛治、県総合開発審議会委員	
一九九四 (平成六)		星寛治、全国環境保全型農業推進会議委員に	
一九九五 (平成七)		中国青海省副省長(他五名) 高島視察 星寛治、有機田で鯉除草を実施 星寛治『農業新時代』真壁仁野の花文化賞受賞	
一九九六 (平成八)	大豆、ジャガイモなど遺伝子組み換え食品七種の輸入許可	墨田区高島町防災協定締結 高島町有機農業研究会発展的解消 高島有機農業提携センター発足 「屋代村塾」開塾	



高島町有機農業五十年の歴史年表

西暦 (元号)	農業、環境政策の動向	高島の出来事（動向）	時代背景 (環境・農業の国際動向等)
一九九七 (平成九)		高島町有機農業推進協議会が発足 八団体が参加	温暖化防止京都会議（COP3）が京都議定書採択
一九九八 (平成十)		水俣病を考える会発足（水俣フォーラム、栗林彬、加藤登紀子ら）、水俣、高島展実行委員会結成	
一九九九 (平成十一)	食料・農業・農村基本法施行 農業の持続的発展と多面的機能の発揮を規定	高島町 ISO14001認証取得	
二〇〇〇 (平成十二)	農地法改正、株式会社 of 農業参入に道を開く	早大大学院アジア太平洋研究科、原剛ゼミ、高島調査開始	
二〇〇一 (平成十三)		「一楽照雄先生記念碑」建立（和田民族資料館前） 高島町和田ゆうきの里づくり着工（和田民族資料館大改修）	
二〇〇二 (平成十四)		ゆうきの里づくり事業（コテージ三棟新築） ゆうきの里さんさん 開業 たかはた共生塾、鈴木久蔵塾長逝去、星寛治塾長就任	高島町で空中散布中止
二〇〇三 (平成十五)		星寛治、第五次山形県教育振興計画審議委員会委員長に就任	
二〇〇四 (平成十六)		星寛治、フランス「家族農業を守る会」を担うダニエル・ヴィロン夫妻と交流 星寛治、山形大学講義『自然と人間の共生』	
二〇〇五 (平成十七)		映画「いのち耕す人々」制作上映支援会発足	
二〇〇六 (平成十八)		桜映画社撮影再開 映画「いのち耕す人々」完成 たかはた共生塾が山形新聞より「三P賞」受賞	有機農業推進法施行
二〇〇七 (平成十九)		たかはた共生塾連続講座「遺産子組み換えの不安」安田節子・星寛治	



高島町有機農業五十年の歴史年表

西暦 (元号)	農業、環境政策の動向	高島の出来事 (動向)	時代背景 (環境・農業の国際動向等)
二〇〇七 (平成十九)		世界農業ジャーナリスト大会に参加した欧米のジャーナリスト約七〇名が高島合宿	
二〇〇八 (平成二十)		「たかはた食と農のまちづくり条例」制定(遺伝子組み換え作物規制) 第五次高島町総合計画策定「いのち輝く未来宣言」 第一期早稲田環境塾高島合宿	
二〇〇九 (平成二一)		たかはた文庫建設委員会・協賛会立ち上げ 第二期早稲田環境塾高島合宿	
二〇一〇 (平成二二)	農家戸別所得補償制度 水田作を対象として、全国一律の定額補償	たかはた文庫、完成 「上和田有機米生産組合」農林水産大臣賞受賞	
二〇一九 (令和元)		たかはたオーガニックラボ開催	
二〇二一 (令和三)	みどりの食料システム戦略策定	高島町有機農業推進計画策定	
二〇二三 (令和五)		高島町有機農業五十周年記念シンポジウム開催 オーガニックビレッジ宣言	